



■一般社団法人 iCD 協会

iCD 協会概要 : <https://www.icda.or.jp/>

iCD 協会ホームページ : <https://www.icda.or.jp/>

[♣長崎県情報産業協会(NISA)は、iCD 協会の賛助会員です]

・ iCD (i-Competency Dictionary : アイ・コンピテンシ・ディクショナリ)について

<https://www.icda.or.jp/about-icda/profile/>

■ iCD 活用認証企業(NISA 会員) ……長崎県 Nisa 会員企業 6 社 (2018 年 9 月現在)

- ・オフィスメーション(株)
- ・不動技研工業(株)
- ・(株)NDKCOM
- ・扇精光ソリューションズ(株)
- ・NBC 情報システム(株)
- ・(株)イシマル

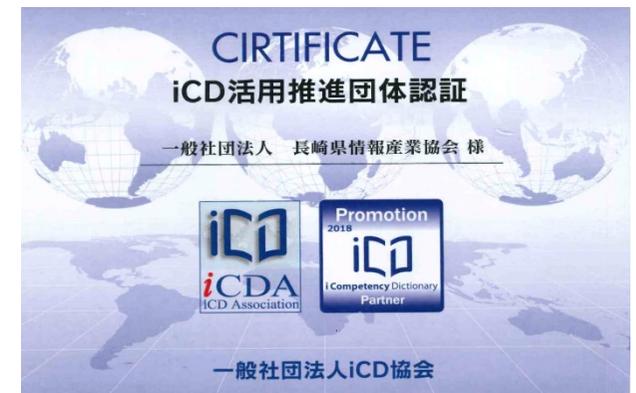
■ iCD 活動情報交換会(長崎県内)

◆ 『第 2 回 iCD 情報交換会 in NAGASAKI』を開催

- 1.日時 2018 年 9 月 12 日(水) 15 : 00~17 : 30
- 2.場所 (一社)長崎県情報産業協会 (NISA 研修室)



iCD 協会 会員証 (賛助会員)



iCD 活用推進団体認証



第 2 回 iCD 活動情報交換会 (於 : NISA 研修室)

■iCD 合同情報交換会(九州地区)

◆『第 11 回 iCD 合同情報交換会』へ参加 (オブザーバ)

- 1.日時 2018年9月14日(金) 13:30~17:30
- 2.会場 学校法人麻生塾(福岡市博多区)
- 3.参加企業 福岡県内 iCD ワークショップ参加企業 12社、24名(内 Gold:4社)

【ワークショップ参加企業 12社】	・Gcom ホールディングス(株)
・西日本コンピュータ(株)	・サン情報サービス(株)
・(株)BCC	・麻生情報ビジネス専門学校
・(株)テクノ・カルチャー・システム	・TOTO インフォーム(株)
・(株)ヒューマンテクノシステム	
・(株)HTS ライズ	【スタッフ】
・九州 NS ソリューションズ(株)	・iCD 協会 (講師)
・TIS 西日本(株)	・福岡県情報サービス産業協会(事務局)
・(株)FCC テクノ	・長崎県情報産業協会 (オブザーバ)

◆『第 12 回 iCD 合同情報交換会』へ参加

- 1.日時 2019年2月5日(火) 13:30~17:30
- 2.会場 学校法人麻生塾(福岡市博多区)
- 3.参加者 福岡県内 iCD ワークショップ参加企業 11社(21名)、長崎県企業2社(2名)

【ワークショップ参加企業 13社】	・(株)ワイズ・コンピュータ・クリエイツ
・(株)テクノ・カルチャー・システム	・扇精光コンサルタンツ(株)：長崎県
・(株)HTS ライズ	・NBC 情報システム(株)：長崎県
・九州 NS ソリューションズ(株)	・(株)九州ソフタス
・TIS 西日本(株)	【スタッフ】
・Gcom ホールディングス(株)	・次世代エンジニア育成協会(NETA)(挨拶)
・九州シー・アンド・シーシステムズ(株)	・iCD 協会 (講師)
・サン情報サービス(株)	・福岡県情報サービス産業協会(事務局)
・麻生情報ビジネス専門学校	・熊本情報産業協会 (オブザーバ)
・TOTO インフォーム(株)	・長崎県情報産業協会 (オブザーバ)



iCD 情報交換会・ワークショップ会場

第 11 回 iCD 合同情報交換会 ワークショップ



第 11 回 iCD 合同情報交換会 ワークショップ 発表会



第 12 回 iCD 合同情報交換会 ワークショップ



第 12 回 iCD 合同情報交換会 ワークショップ 発表会

関連資料

- ◆第24回 iCD ユーザー会【開催ご報告】

<https://www.icda.or.jp/2021/12/15/4507/>

- ◆第24回 iCD ユーザー会（2021年12月14日）講演資料

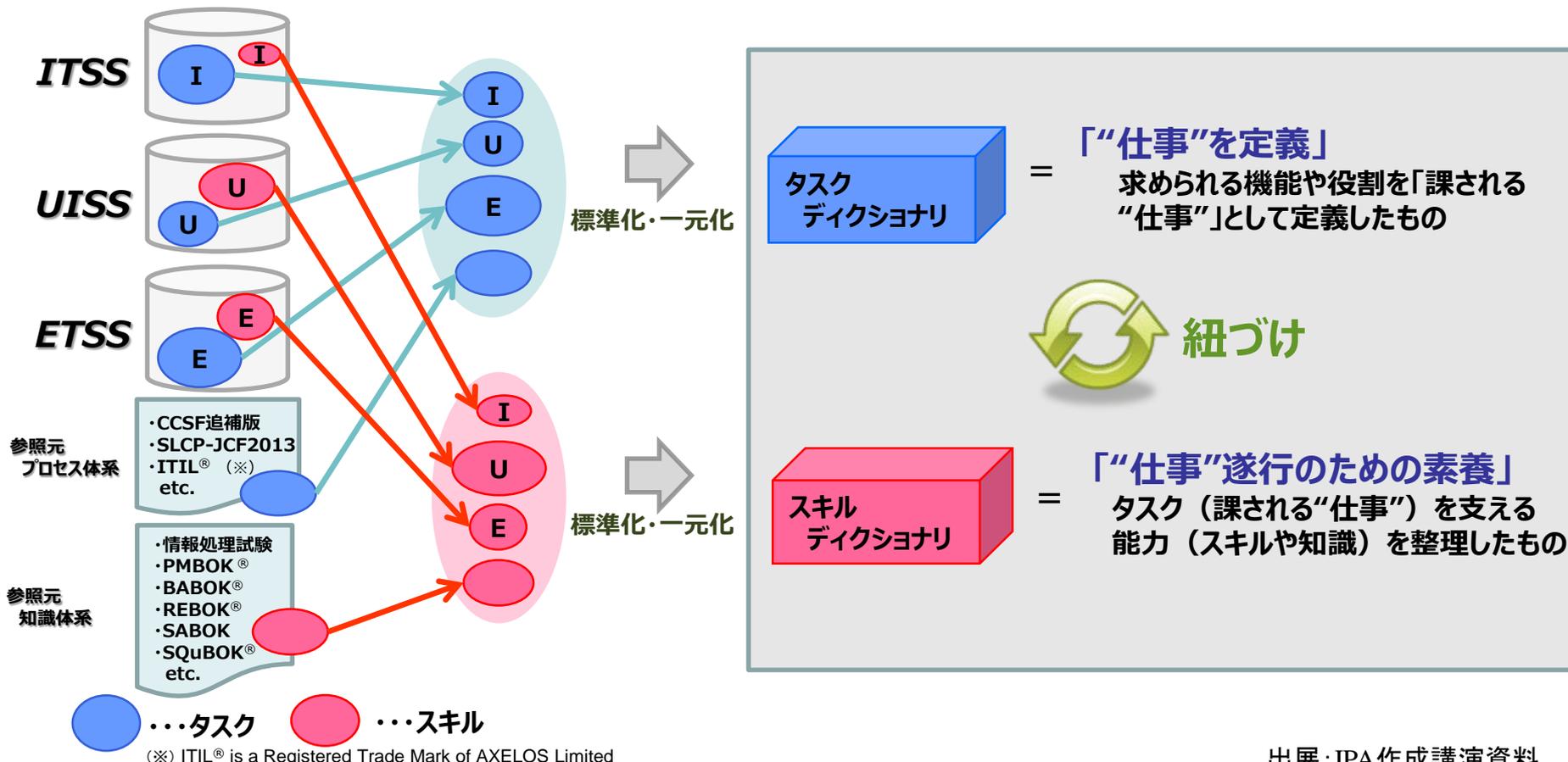
<http://www.nagisa.or.jp/info/data/tmp/01info3697.pdf>

- ◆講演資料：「事例紹介_創研情報株式会社」

<http://www.nagisa.or.jp/info/data/tmp/02info3697.pdf>

i コンピテンシ ディクショナリ (iCD) とは

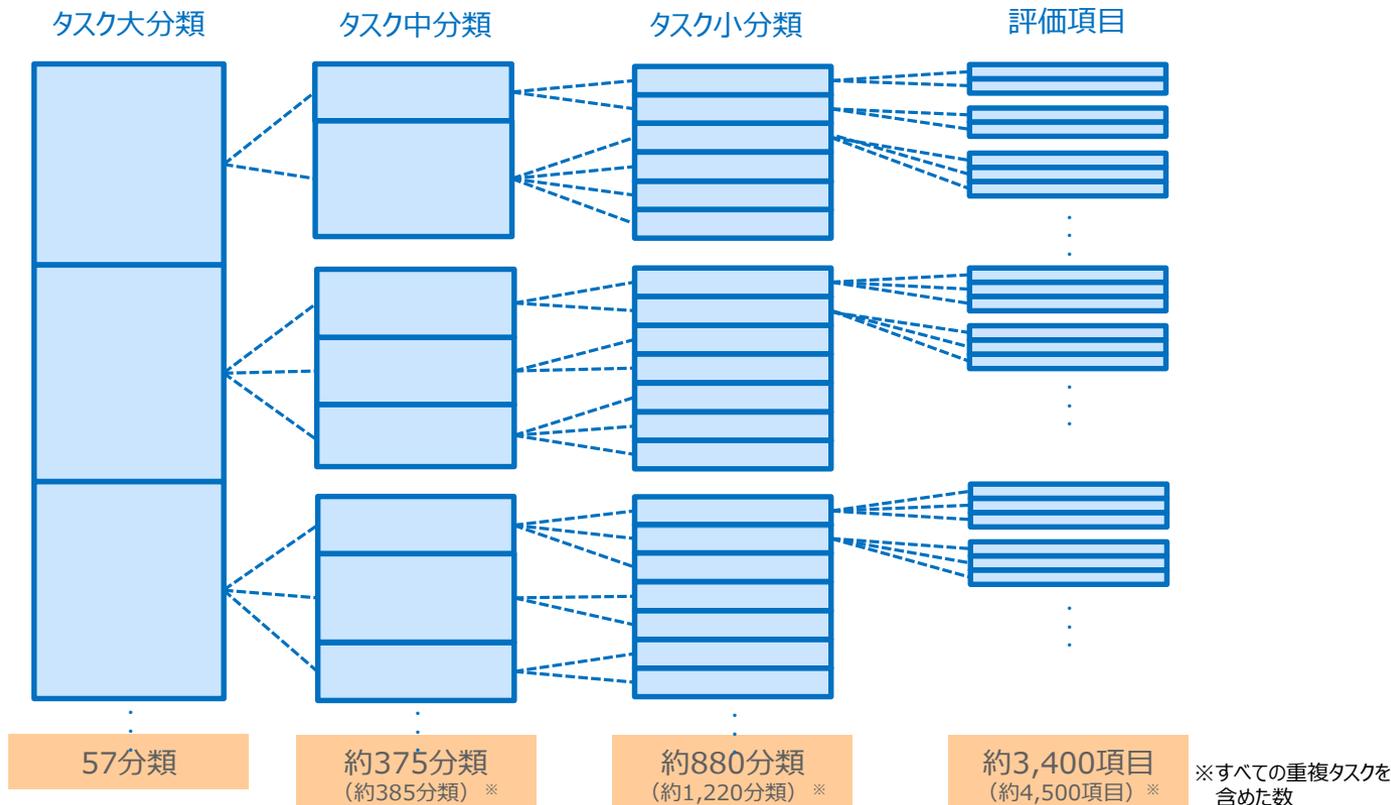
i コンピテンシ ディクショナリ (iCD) は、企業においてITを活用するビジネスに求められる業務 (タスク) と、それを支えるIT人材の能力や素養 (スキル) を「タスクディクショナリ」、「スキルディクショナリ」として体系化したもの。IPAは、2014年7月31日にiCDの試用版を、2015年6月30日にその正式版となる「iCD2015」を公開。毎年更新を重ね、2018年8月17日に「iCD2018」を公開。



タスクディクショナリ（1）

定義

「課される“仕事”」：組織、個人に求められる機能や役割。4階層のモデルで整理、体系化したもの



特色

- 1) ITビジネスにかかわる主要プロセス体系（右欄：参照元）との参照性を高め、MECEに整理
- 2) ビジネスモデル、業態、開発手法等の観点で、必要なタスクセットをモデル化（タスクプロフィール）
- 3) 個人がタスク遂行実績を評価する項目（評価項目：約3,400項目）を付加
- 4) ニーズに対応しタスクを強化（協力：CSAJ、FISA、KSK）

参照元

- ・CCSF（第一版・追補版）
- ・SLCP-JCF 2013
- ・ESPR Ver.2.0
- ・ITIL® 2011 Edition ほか

タスクディクショナリ (2)

タスク構成図

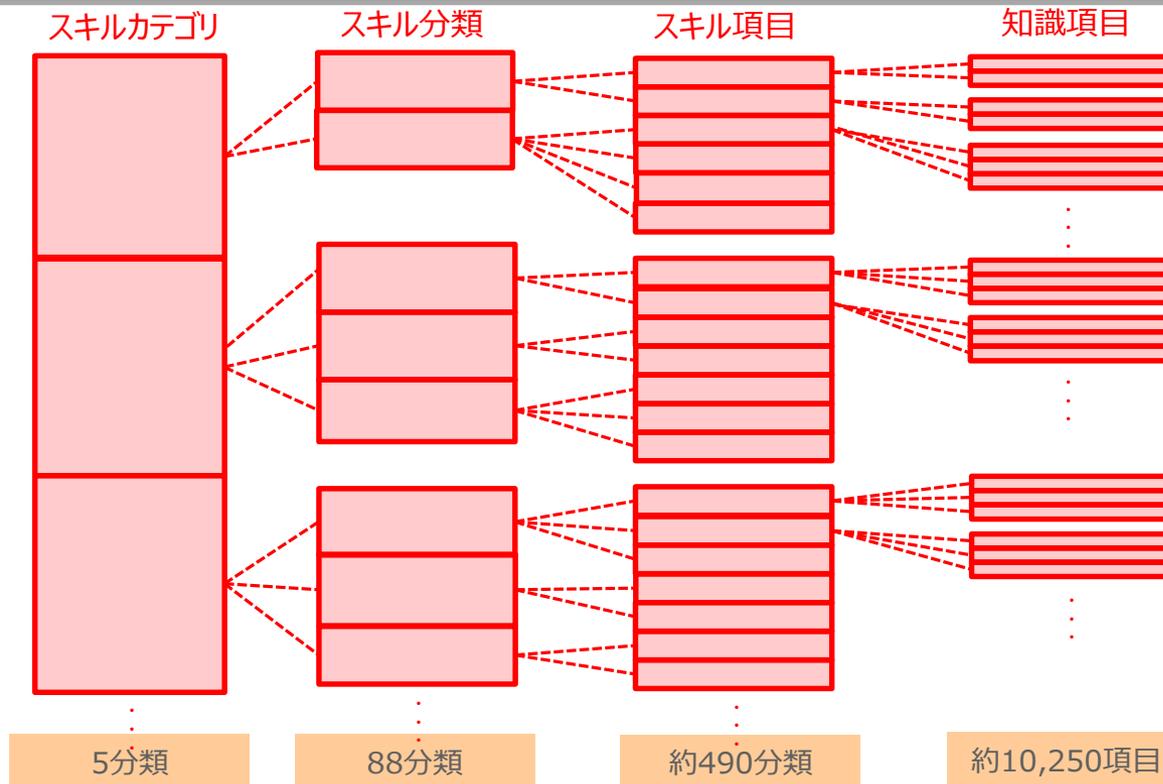
		計画・実行	管理・統制	推進・支援	その他業務															
ライフサイクル	戦略	ST01 事業戦略策定	MC01 MC02 MC03 MC04 MC05 MC06 MC07 MC08 MC09 MC10	CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05															
		ST02 事業戦略把握・策定支援				CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05													
		ST03 IT製品・サービス戦略策定						CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05											
	企画	PL01 IT戦略策定・実行推進								CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05									
		PL02 システム企画立案										CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05							
	開発	プロジェクトマネジメント UIデザイン サービスマネジメント			DV01 システム要件定義・方式設計					MC01 MC02 MC03 MC04 MC05 MC06 MC07 MC08 MC09 MC10	CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07			SP01 SP02 SP03 SP04 SP05						
					DV02 運用設計							CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05							
					DV03 移行設計										CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05				
					DV04 基盤システム構築	CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05													
					DV05 アプリケーションシステム開発			CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05											
			DV06 ソフトウェア製品開発	CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05															
			DV07 組込みソフトウェア開発											CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07			SP01 SP02 SP03 SP04 SP05			
			DV08 Webサイト開発															CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05	
			DV09 システムテスト																	CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07
DV10 セキュリティテスト			CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07																	
DV11 移行・導入 (システムリリース)										CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05									
DV12 ソフトウェア保守	CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07											SP01 SP02 SP03 SP04 SP05								
DV13 ハードウェア・ソフトウェア製品導入													CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07		SP01 SP02 SP03 SP04 SP05					
DV14 ファシリティ設計・構築						CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05													
利活用		US01 サービスデスク						CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05											
		US02 IT運用コントロール		CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05															
		US03 システム運用管理												CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07		SP01 SP02 SP03 SP04 SP05				
		US04 Webサイト運用管理															CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05		
		US05 ファシリティ運用管理																	CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05
評価・改善		EV01 システム評価・改善	CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07																	
		EV02 IT戦略評価・改善								CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05									
	EV03 IT製品・サービス戦略評価・改善	CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07										SP01 SP02 SP03 SP04 SP05								
	EV04 事業戦略評価支援・改善支援												CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07		SP01 SP02 SP03 SP04 SP05					
	EV05 事業戦略評価・改善					CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05													
	EV06 資産管理・評価							CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05											
専門領域	EX01 セキュリティ領域 ※1、※2			CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07	SP01 SP02 SP03 SP04 SP05															
	EX02 データサイエンス領域													CM01 CM02 CM03 CM04 CM05 CM06 CM07		SP01 SP02 SP03 SP04 SP05				

※1 他タスクと重複するタスク中分類、タスク小分類、評価項目を含んでいるタスク大分類
 ※2 情報処理安全確保支援士 (登録セキスペ) の役割として想定するタスク

スキルディクショナリ（1）

定義

「タスク遂行のための素養」：タスクを支える能力（スキルや知識）を体系化したもの。
スキル3階層と知識項目から構成される。



参照元

参照元	小分類数	知識項目数
情報処理試験	100	723
ITSS	501	2,827
ITS	76	359
UISS	55	1,303
ETSS	46	273
J07	152	3,147
BABOK®	23	526
CBK	10	51
ITIL®	73	381
PMBOK®	10	364
REBOK®	18	112
SABOK	120	634
SQuBOK®	103	1,348
SWEBOK	52	453
SSUG	20	97
SecBoK	64	895
CAIS_BOK	12	132
合計	1,506	14,252

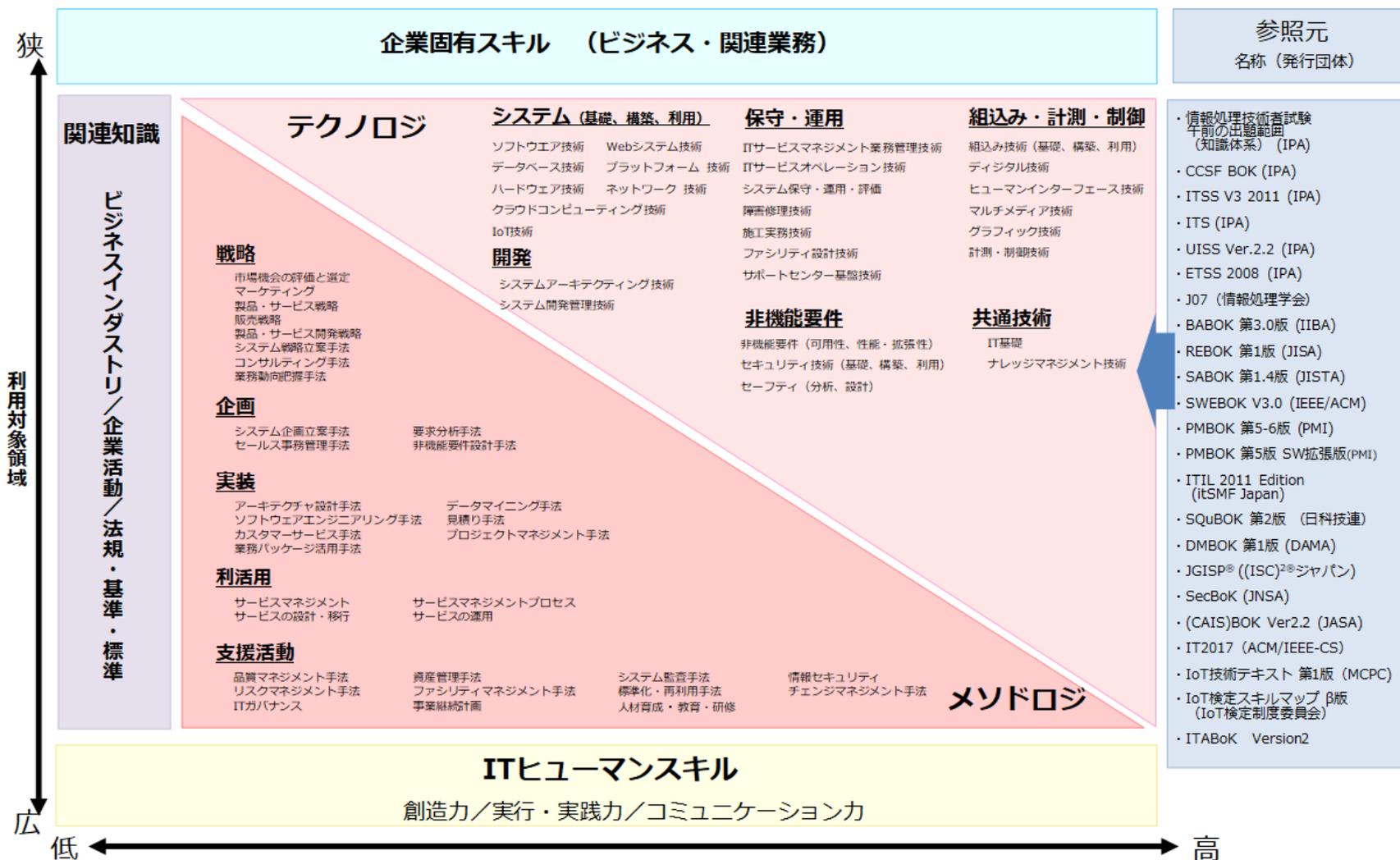
特色

- 1) IT業務に必要なスキルと知識を、主要な参照元の知識項目に基づき網羅的に構造化して提示
- 2) スキルカテゴリは、「テクノロジー」「メソドロジー」「関連知識」「ITヒューマンスキル」「企業固有スキル（ユーザ領域）」の5分類から構成
- 3) 情報処理試験「[午前の試験]出題分野」に準じた整理体系

注) 参照元より抽出した小分類、知識項目は各々の重複を整理したため、スキルディクショナリ上の数は減っている

スキルディクショナリ (2)

スキル構成図



活用企業“生の声” ~iCD活用で達成した10の成果

